

山口・東禪寺
とうぜんじ

所在地 山口市大字鑄銭司字大円

調査期間
一九九九年（平11）五月～一〇月

発掘機関
(財)山口県教育財団・山口県埋蔵文化財センター

調査担当者 西田 宏・村崎賢一

遺跡の種類 集落跡

遺跡の年代 九世紀前半—六世紀

遺跡及び木簡出土遺構の概要

調査は、調整池を建設する「南若川一船河川改修」工事に伴

（小郡）
周防鑄錢司跡は、金毛川を
挟んで調査区の対岸にあたる
鋳造した官営工房跡である

この木簡は、中央で左右に割れるが、完形である。中央部に釘孔をもち、表面のみに墨書が認められ、梵字「バン」を文頭に記す。

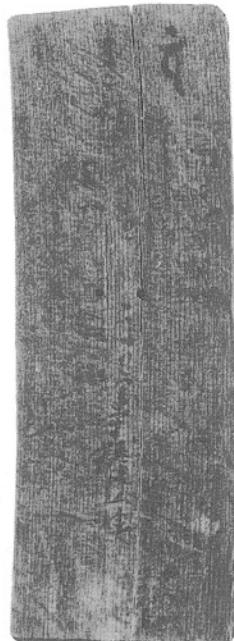
なお、本木簡の釈読にあたつては、山口芸術短期大学の田中倫子

本調査で出土した主な遺構は、古代・中世の掘立柱建物・土坑・井戸・溝・埋葬遺構・炉などで、これらの遺構に伴う遺物が出土した。

氏にご教示・ご協力いただいた。

(西田 宏)

徳島・敷地遺跡



- | | | |
|---|---------------|----------------------|
| 1 | 所在地 | 徳島市国府町敷地 |
| 2 | 調査期間 | 一九九九年(平11)四月～二〇〇〇年三月 |
| 3 | 発掘機関 | (財)徳島県埋蔵文化財センター |
| 4 | 調査担当者 | 氏家敏之 |
| 5 | 遺跡の種類 | 居館跡 |
| 6 | 遺跡の年代 | 弥生時代後期～室町時代 |
| 7 | 遺跡及び木簡出土遺構の概要 | |

本調査は、道路改築事業徳島環状線建設に伴うものである。調査対象地は、徳島市の西部にある。一～五区の調査区を設定し、九

四九六m²を調査した。

調査対象地は阿波国府方

八町推定域から北に約一〇〇m、国府の存在が考えられている四国霊場一六番札所觀音寺や、また多数の木簡が出土した觀音寺遺跡

(本誌第二〇・二二号)付近からは北に約六〇〇mの地



(川島)